

「2015年の高齢者介護」の概要

ケアモデルの
転換

新しいケアモデルの確立
認知症高齢者ケア

要介護高齢者の約半数、施設入所者の8割に認知症の影響あり

生活の継続性を維持するための
新しい介護サービス体系

認知症高齢者にも対応した体系

新しいサービス
体系の確立

在宅で365日・24時間の安心を提供する

・切れ目のない在宅サービスの提供
(小規模多機能サービス書店の整備)

新しい「住まい」

・自宅、施設以外の多様な「住まい方」
の実現

高齢者の生活を支える施設の新たな役割

・施設機能の地域展開、ユニットケア
の普及、施設の機能の再整理

地域
包括
システム
の
確立

その実現に向けて

サービスの質の確保と向上

活力ある高齢
社会づくりの基盤

介護予防・リハビリテーションの充実